

認定特定非営利活動法人アレルギー支援ネットワーク

平成25年度 事業報告書

I.事業実施の方針

- ①組織・財政の基盤強化をする。
- ②アレルギー大学事業および栄養士派遣事業を基盤事業として発展させる。

II. 事業の実施に関する事項

1.特定非営利活動に係る事業

(1)アレルギーなどの普及啓発交流事業

1)アレルギーの会支援事業 (ロータリークラブ助成金事業含む)

①会の設立と活動を支援する事業

事業内容	<p>保健所・保健センターなど地域の保健機関と連携をして、三河地域、尾張地域、名古屋市内など数箇所の地域の会の設立を目指す。</p> <p>2012年度に発足させた「名古屋地区連絡会」を定期的で開催(年3-4回)し、名古屋市のアレルギー施策などの向上をめざし、各区の連携を強め、名古屋市に要望を提出する。</p> <p>「愛知県連絡会」の設立をめざす。(年2回程度)</p> <p>「東海アレルギー連絡会」のオブザーバー会員として、大規模災害に備えた広域的な連携をおこなう組織に発展できるようサポートする。国に対する要望など統一した取り組みができるようにすすめる。</p>
結果	<p>東海地域にある40団体中 19団体に、のべ 92回の活動支援をした。</p> <p>活動支援内容は、会の運営支援、管理栄養士による栄養相談、防災士による災害対策、防災イベントへの参加支援、会の設立支援で、9月に、保健センターと連携をして蒲郡に「蒲郡アレルギーっ子の会」を設立支援した。</p> <p>一方、名古屋市内名東区の会は、今までの代表が負担になるからという理由で退任。後継者が無く支援ネットで運営。</p> <p>「名古屋地区連絡会」は、5/20に名古屋市教育委員会・学校給食課と懇談、学校給食のアレルギー対応について要望書を提出した。7/4.9/10.11/29.1/28.3/5に連絡会を開催し、アレルギー児のメンタルサポート(クラス運営)を含む、「入学入園マニュアル」の作成をし、患者会やHPで周知した。</p> <p>「東海アレルギー連絡会」のオブザーバー会員として、4/21、7/28、11/6.2/9の交流会に参加、大規模災害に備えた広域的な連携と、各地域での自助・共助・公助の仕組みづくりの提案をした。</p>

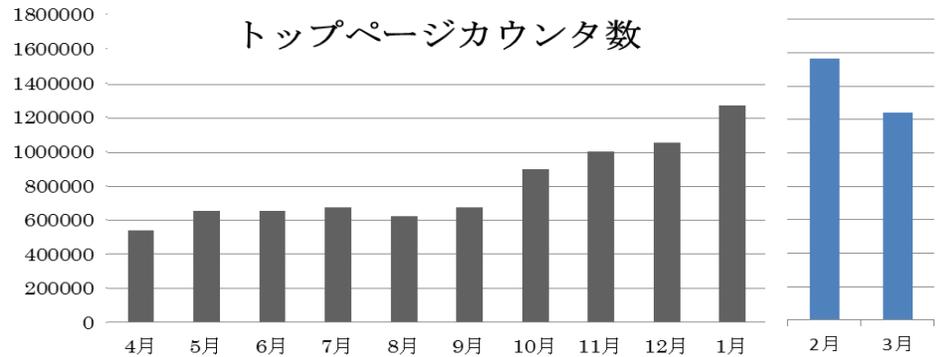
②「アレルギーの患者家族会」支援助成事業(会活動費助成事業)

事業内容	<p>「アレルギーの会」が継続して活動をすすめるには会の運営資金を会費で賄うだけでは困難であり、持続的に会財政が潤う仕組みを工夫し、支援する。具体的には、小口の助成金収入と物品販売活動を通して会の収入が増えるよう援助する。</p> <p>さまざまな寄附システムを通して「(数団体から数十団体を対象とする)アレルギーの会活動助成と基盤育成を目的とした助成金」制度が確立できるよう模索する。</p>
結果	<p>会の共同購入による活動費助成金は、13団体に対して 19,089 円の還元金。</p> <p><団体会費減免申請> 22 団体</p>

③スタッフ、リーダー育成事業

事業内容	<p>アレルギーの会を支えるお母さんたちは、孤立しがちな患者やその家族同士を結びつけ励ますために、日々苦勞しているが、自らを研鑽し、スキルアップを図るための支援は殆どない。このため、支援ネットの(ボランティア)スタッフのスキルアップはもとより、各会のリーダーを支え、育成する事業をおこなう。</p> <p>当面、アレルギー大学基礎・初級以上に参加するリーダー(各会年・3人まで)の資料代などを免除し、中級以上の受講については交通費を補填する。又、スタッフやリーダーに必要な資質を向上するための養成プログラムをそれぞれが自主的に計画できるようにし、実施する。</p>
結果	<p>「リーダー養成講座」として、アレルギー大学を 4団体のリーダー 4人が受講した。 (名古屋南部の会・桑名アレルギーっ子生まれ!・岡崎アレルギーの会・天白アレルギーの会) 全講座終了後、感想文の提出をもって、受講費の返金と交通費を支給した。 受講費 108,000円 交通費 18,220円</p> <p>支援ネットスタッフ勉強会(テーマ「環境とアレルギー」講師・坂本副理事長)を患者会に広報し、聴講生を募り12人が一緒に勉強をした。</p>

2)ホームページ・メールマガジンによるWeb情報の提供

事業内容	<p>リニューアルしたHPの情報の追加と更新、およびメールマガジンの内容がタイムリーにできるような担当スタッフの強化をする。IT委員会の中で検討を進める。</p>																										
結果	<p>【HP閲覧状況】 トップページカウンタ：10,884,852 (4月～3月合計数)</p>  <table border="1"> <caption>トップページカウンタ数</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>カウンタ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>550,000</td></tr> <tr><td>5月</td><td>650,000</td></tr> <tr><td>6月</td><td>650,000</td></tr> <tr><td>7月</td><td>680,000</td></tr> <tr><td>8月</td><td>620,000</td></tr> <tr><td>9月</td><td>680,000</td></tr> <tr><td>10月</td><td>900,000</td></tr> <tr><td>11月</td><td>1,000,000</td></tr> <tr><td>12月</td><td>1,050,000</td></tr> <tr><td>1月</td><td>1,250,000</td></tr> <tr><td>2月</td><td>1,550,000</td></tr> <tr><td>3月</td><td>1,200,000</td></tr> </tbody> </table> <p>検索キーワード 4～10月「エピペン講習」「アレルギー大学」「アレルギー支援ネットワーク」上位にある。 特にエピペン 4～7月にかけてエピペン講習での検索が多かった。 11月以降「食物アレルギー」「アレルギー」「アナフィラキシー」での検索が上位にある。</p> <p>【メルマガ登録者数】1031件(PC用:776 携帯用:265) 11月以降 PC用 49件、携帯用 23件増加</p> <p>【gooddo(ソーシャルグッドプラットフォームに参加)】 クリック数に応じて応援企業から支援金が「アレルギー支援ネットワーク」に届けられる仕組み。 2月3月分として6900円の振り込みがあった。</p>	月	カウンタ数	4月	550,000	5月	650,000	6月	650,000	7月	680,000	8月	620,000	9月	680,000	10月	900,000	11月	1,000,000	12月	1,050,000	1月	1,250,000	2月	1,550,000	3月	1,200,000
月	カウンタ数																										
4月	550,000																										
5月	650,000																										
6月	650,000																										
7月	680,000																										
8月	620,000																										
9月	680,000																										
10月	900,000																										
11月	1,000,000																										
12月	1,050,000																										
1月	1,250,000																										
2月	1,550,000																										
3月	1,200,000																										

3) 講演会・講習会の開催および講師派遣事業

事業内容	アレルギーなどに関わる科学的知識や実生活に役立つ情報を広げる講演会や講習会を行う。今年度は特に、食物アレルギー児の誤食事故の対策として園や学校の教職員などから要望の多い「アナフィラキシーとエピペンの講習会」を年に数回開催する。その他、自治体や企業からの依頼に応じ、講演会講師の派遣を行う。また、各地の会が主催する講演会に協力する。																																																																																																																																																																																																																																						
結果	<p>i) アレルギーっ子のフェアの開催 日程 2014年 3月 8日(土)～ 3月 9日(日) 会場 名古屋国際会議場 企画内容及び参加者 3/8(土) 来場者数 210名 ミニシンポジウム 「名古屋市の食物アレルギー対応」 参加人数 134名 松永佳世子先生 「アトピー性皮膚炎の治療における最新情報」 参加人数 81名 3/9(日) 来場者数 120名 椋村春江先生 「おいしく楽しく安全に食べるアレルギー食」 参加人数 69名 お楽しみ子ども企画 参加人数 51名 栄養相談 参加家族数 9家族 その他 両日 企業展示ブース 賛助法人会員さんより商品の提供をしていただき、スタンプラリー抽選会実施</p> <p>ii) 講師派遣事業</p> <table border="1" data-bbox="305 1024 1430 1182"> <thead> <tr> <th>講師</th> <th>依頼先 (自治体)</th> <th>依頼先 (園や学校)</th> <th>依頼先 (その他)</th> <th>テーマ(アナ フィラキシー)</th> <th>テーマ (その他)</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>15件</td> <td>18件</td> <td>1件</td> <td>30件</td> <td>4件</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>13件</td> <td>5件</td> <td>16件</td> <td>0</td> <td>34件</td> <td>34</td> </tr> </tbody> </table> <p>その他34件は、小川理事・坂本理事・青木理事・中西 が担当。</p> <p>iii) 「アナフィラキシー対応とアドレナリン自己注射器」講習会</p> <p style="text-align: center;">「エピペン講習会」受講申し込み状況</p> <table border="1" data-bbox="415 1472 1349 1959"> <thead> <tr> <th rowspan="2">日程</th> <th colspan="14">所属内訳</th> </tr> <tr> <th>申込人数</th> <th>出席人数</th> <th>保育園</th> <th>幼稚園</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>高校</th> <th>養護学校</th> <th>大学・短大</th> <th>消防</th> <th>患者会</th> <th>施設、児童施設</th> <th>教育委員会・市関係</th> <th>所属名なし、住所のみ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月12日</td> <td>98</td> <td>92</td> <td>26</td> <td>6</td> <td>12</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>19</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>6月20日</td> <td>104</td> <td>101</td> <td>31</td> <td>6</td> <td>18</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>13</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>7月2日</td> <td>100</td> <td>95</td> <td>18</td> <td>7</td> <td>17</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>10</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>7月12日</td> <td>99</td> <td>89</td> <td>33</td> <td>0</td> <td>20</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>16</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>7月26日</td> <td>103</td> <td>98</td> <td>13</td> <td>7</td> <td>28</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>28</td> <td>1</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>7月31日</td> <td>100</td> <td>94</td> <td>11</td> <td>0</td> <td>32</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>30</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>8月23日</td> <td>100</td> <td>95</td> <td>7</td> <td>10</td> <td>16</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>22</td> <td>0</td> <td>11</td> <td>15</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>9月3日</td> <td>98</td> <td>96</td> <td>25</td> <td>2</td> <td>36</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>#####</td> <td>102</td> <td>90</td> <td>37</td> <td>2</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>14</td> <td>0</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>1月30日</td> <td>41</td> <td>30</td> <td>19</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2月8日</td> <td>64</td> <td>47</td> <td>35</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>集計</td> <td>1009</td> <td>927</td> <td>255</td> <td>40</td> <td>193</td> <td>46</td> <td>19</td> <td>13</td> <td>7</td> <td>116</td> <td>9</td> <td>75</td> <td>26</td> <td>128</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※7月26日の施設・他28名に愛知県調理師会学校給食支部20人の団体含む ※8月23日の施設・他11名は南知多町養護教諭部会</p>	講師	依頼先 (自治体)	依頼先 (園や学校)	依頼先 (その他)	テーマ(アナ フィラキシー)	テーマ (その他)	合計	医師	15件	18件	1件	30件	4件	34	その他	13件	5件	16件	0	34件	34	日程	所属内訳														申込人数	出席人数	保育園	幼稚園	小学校	中学校	高校	養護学校	大学・短大	消防	患者会	施設、児童施設	教育委員会・市関係	所属名なし、住所のみ	6月12日	98	92	26	6	12	1	0	0	1	19	2	6	1	18	6月20日	104	101	31	6	18	0	3	1	1	13	0	0	1	27	7月2日	100	95	18	7	17	3	4	1	0	10	2	5	7	21	7月12日	99	89	33	0	20	7	0	1	0	16	0	1	0	11	7月26日	103	98	13	7	28	7	2	3	0	0	0	28	1	9	7月31日	100	94	11	0	32	8	1	4	1	30	1	1	0	5	8月23日	100	95	7	10	16	6	0	0	0	22	0	11	15	8	9月3日	98	96	25	2	36	9	2	2	4	5	1	3	1	6	#####	102	90	37	2	9	2	6	1	0	1	3	14	0	15	1月30日	41	30	19	0	4	2	1	0	0	0	0	3	0	1	2月8日	64	47	35	0	1	1	0	0	0	0	0	3	0	7	集計	1009	927	255	40	193	46	19	13	7	116	9	75	26	128
講師	依頼先 (自治体)	依頼先 (園や学校)	依頼先 (その他)	テーマ(アナ フィラキシー)	テーマ (その他)	合計																																																																																																																																																																																																																																	
医師	15件	18件	1件	30件	4件	34																																																																																																																																																																																																																																	
その他	13件	5件	16件	0	34件	34																																																																																																																																																																																																																																	
日程	所属内訳																																																																																																																																																																																																																																						
	申込人数	出席人数	保育園	幼稚園	小学校	中学校	高校	養護学校	大学・短大	消防	患者会	施設、児童施設	教育委員会・市関係	所属名なし、住所のみ																																																																																																																																																																																																																									
6月12日	98	92	26	6	12	1	0	0	1	19	2	6	1	18																																																																																																																																																																																																																									
6月20日	104	101	31	6	18	0	3	1	1	13	0	0	1	27																																																																																																																																																																																																																									
7月2日	100	95	18	7	17	3	4	1	0	10	2	5	7	21																																																																																																																																																																																																																									
7月12日	99	89	33	0	20	7	0	1	0	16	0	1	0	11																																																																																																																																																																																																																									
7月26日	103	98	13	7	28	7	2	3	0	0	0	28	1	9																																																																																																																																																																																																																									
7月31日	100	94	11	0	32	8	1	4	1	30	1	1	0	5																																																																																																																																																																																																																									
8月23日	100	95	7	10	16	6	0	0	0	22	0	11	15	8																																																																																																																																																																																																																									
9月3日	98	96	25	2	36	9	2	2	4	5	1	3	1	6																																																																																																																																																																																																																									
#####	102	90	37	2	9	2	6	1	0	1	3	14	0	15																																																																																																																																																																																																																									
1月30日	41	30	19	0	4	2	1	0	0	0	0	3	0	1																																																																																																																																																																																																																									
2月8日	64	47	35	0	1	1	0	0	0	0	0	3	0	7																																																																																																																																																																																																																									
集計	1009	927	255	40	193	46	19	13	7	116	9	75	26	128																																																																																																																																																																																																																									

<p>iv) 第31回日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会のプレ企画を共催 2014年2月2日(日)13:00-16:30 名古屋国際センター ミニレクチャー……食物アレルギーへの対応(伊藤浩明先生) 114名 (各テーマ100名) アトピー性皮膚炎のスキンケア(中田如音先生) 89名 気管支喘息の吸入方法(漢人直之先生) 75名 アナフィラキシー対応とエピペン(松井照明先生) 88名</p> <p>親子で体験コーナー……クッキング体験15組・スキンケア体験16組 吸入体験6組・エピペン体験27組</p> <p>子どもコーナー 14組 アレルギー相談18組 の参加があった。</p>

4)アレルギー相談事業

事業内容	E-mailや電話による相談 ホームページなどの閲覧者や園や学校などから、Eメールや電話によるアレルギーなどの相談に対して各分野の専門家などによるアドバイス活動を行う(年間600件)。
結果	【メール相談件数】 2013年4月～2014年3月 81件 【電話相談件数】 患者家族からの相談 74件(給食16 治療10 成人6 会の運営5 その他(寝具・防災・転居・学童保育など)) 企業・マスコミからの相談 43件

5)アレルギー大学修了生(マイスター・サポーターを含む)による地域ミニ講座

事業内容	i) 修了生がアレルギー大学のDVDを利用し地域でミニ講座を開催する仕組みを構築する。 ii) 地域の「会」への支援を行う「サポーター」の育成をはかり、「サポーター制度」の確立をめざす。サポーター会議を年に4回開催する。
結果	i) 第8期修了証書授与式にて周知 ii) サポーター会議は、11/24研究実践講座および、3/8/9フェアにおいて開催。

(2)「アレルギー大学」など専門職の育成支援事業

1)「アレルギー大学」(研修講座)推進事業

事業内容	愛知県、静岡県、三重県、岐阜県、千葉県、新潟県各会場にて、開講する。三重県、岐阜県は、基礎講座(医学・食品学)と調理実習のみ県内で開講し、その他はインターネットまたは他県での受講とする。 「マイスター」制度の内容を受講生に周知し、研究発表など早くから準備する。																														
結果	【愛知会場(名古屋市) 基礎・初級、中級、上級、研究実践、特別実習】18講座30調理実習2医療研修20特別実習																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>受講生数</th> <th>基礎・初級</th> <th>中級</th> <th>上級</th> <th>研究</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延人数</td> <td></td> <td>1458</td> <td>633</td> <td>417</td> <td>212</td> </tr> <tr> <td>栄養コース修了</td> <td>147</td> <td>79</td> <td>42</td> <td>36</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保育コース修了</td> <td>43</td> <td>23</td> <td>13</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コースなし</td> <td>24</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		受講生数	基礎・初級	中級	上級	研究	延人数		1458	633	417	212	栄養コース修了	147	79	42	36		保育コース修了	43	23	13	5		コースなし	24	0	0	0	
	受講生数	基礎・初級	中級	上級	研究																										
延人数		1458	633	417	212																										
栄養コース修了	147	79	42	36																											
保育コース修了	43	23	13	5																											
コースなし	24	0	0	0																											

【静岡会場（浜松市）基礎・初級、中級】13講座6調理実習2医療研修

	受講生数	基礎・初級	中級	上級
延人数		398	156	
栄養コース修了	37	18	13	4
保育コース修了	3	0	1	0
コースなし	3	0	0	0

【三重会場（津市）基礎・初級】2講座2調理実習+インターネット受講

	受講生数	基礎・初級	ネット受講	中級	上級
延人数		86	11		
栄養コース修了	29	16	9	7	7
保育コース修了	5	2	2	2	1
コースなし	0	0	0	0	0

【岐阜会場（岐阜市）基礎・初級】2講座2調理実習+インターネット受講

	受講生数	基礎・初級	ネット受講	中級	上級
延人数		75	9		
栄養コース修了	26	9	8	4	3
保育コース修了	5	2	1	0	0
コースなし	0	0	0	0	0

【千葉会場（千葉市）基礎・初級、中級】11講座6調理実習

	受講生数	基礎・初級	中級
延人数		298	177
栄養コース修了	38	17	13
保育コース修了	8	1	1
コースなし	16	0	0

【新潟会場（新潟市）基礎・初級、特別講座】7講座4調理実習

	受講生数	基礎・初級	中級
延人数		316	0
栄養コース修了	30	16	0
保育コース修了	4	3	0
コースなし	7	0	0

【食物アレルギーマイスター】

第8期より1名が、マイスター審議委員により認定された。

2)「インターネットアレルギー大学」事業

事業内容	<p>i) 第6期アレルギー大学の講座をインターネットで配信し受講する。特に「アレルギー大学を開催できない」地域でもアレルギー大学が受講できる機会を確保し、各地で「アレルギーの会」をサポートし、地域・学校・保育園でアレルギー対応がすすむよう取り組みをする。アレルギーの会がある地域では医学の基礎・初級など可能な講座を開催しつつ、アレルギー大学インターネット講座との組み合わせにより必要な単位習得が出来るように検討する。</p>
------	---

	ii) アレルギー大学i-Pad電子教材構築を検討する。 各講座の教材づくり、学校・保育園、食品産業で利活用できる総合ネットワークシステムの構築をひきつづき検討する。														
結果	i)														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コース</th> <th>申込 延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基礎・初級</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>中級</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>上級</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>基礎・初級＋中級</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>基礎・初級＋中級＋上級</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>98</td> </tr> </tbody> </table>	コース	申込 延人数	基礎・初級	33	中級	4	上級	3	基礎・初級＋中級	9	基礎・初級＋中級＋上級	49	合計	98
コース	申込 延人数														
基礎・初級	33														
中級	4														
上級	3														
基礎・初級＋中級	9														
基礎・初級＋中級＋上級	49														
合計	98														
	ii) 未実施														

3)「アレルギー大学ベーシックプログラム」事業

事業内容	栄養士や保育士養成校の学生を対象に、アレルギー大学基礎講座を一日に凝縮して実施し、基礎講座修了証を発行する。
結果	当初は、300名定員の応募だったが、お申し込みが殺到し、急遽1部屋増やし、定員を500名とした。 チラシは、名古屋短期大学、名古屋学芸大学、岡崎女子短期大学、名古屋柳城短期大学、桜花学園大学、椙山女子学園大学、愛知学泉大学、名古屋女子大学、名古屋経済大学へ学校を限定して配布を行った。 5月9日よりお申し込み受付開始、6月18日には、募集定員に達したため、受付を締め切った。 お申し込み510名／出席428名／欠席89名 欠席が多いのは、当日支払いのためと予想できる。

4)アレルギー教本普及事業

事業内容	保育園・学校などが行うアレルギー給食の担い手である栄養士、調理員、保育士、教員など専門職を対象に、食物アレルギーの手引書「食物アレルギーの基礎と対応」を普及する。
結果	アレルギー大学関連で671冊、名古屋学芸大学で88冊、あいち小児センターで10冊、その他書店233冊、その他66冊 合計1068冊販売 残数1722冊

(3) 調査研究事業

1) 自主研究事業

今年度は実施しない。

2) 共同研究事業

① 医学気象予報調査研究開発事業

事業内容	ぜん息など気象に係る疾患の予報事業を中部大学、気象協会等と協同で行う。 また、本事業推進のため助成金申請を行うよう協同者と一緒に準備する。
結果	未実施

② 外食産業調査研究事業(名芸大共同調査)

事業内容	名古屋学芸大学(和泉教授)と協同でおこなった外食産業の実態調査をもとに マニュアル(ガイドライン)づくりを行う。(本事業は「食品委員会」でおこなう)
結果	食品委員会(4/15.6/10.7/8.8/30.9/27)において、マニュアル(ガイドライン)づくりを行った。

③ 園・学校のアレルギー対応給食に関する調査研究事業 (園・学校における調理器具等のアレルゲン調査)

事業内容	岐阜聖徳学園大学短期大学部・高木瞳教授との共同研究として、食物アレルギーに対応している調理器具等におけるアレルゲンの実態を調査し、集団調理場での調理・洗浄等の管理マニュアルを作成する。 本年は、3園に洗浄マニュアル(案)を説明し、現場においてマニュアルに沿った洗浄が手荒れや作業負担の軽減、作業時間の短縮、水道料金等の経費への影響など総合的に検討し、更に実施可能で洗浄効果の高い洗浄マニュアル作成を行う。その結果をアレルギーおよび栄養等に関わる学会で発表予定である。(本事業は「食品委員会」でおこなう)
結果	2012年度におこなった調査結果をもとに、洗浄機マニュアルを作成。2013年度は、実際に運用をし、試すため4/22S幼稚園、5/10K保育園へ訪問、マニュアルを説明。K保育園にマニュアルの使用を依頼したが、その結果、洗浄に時間がかかることと水道料金などの問題からアレルギー児の食器は手洗いをしたほうがよいという結論になった。 2年間にわたって、保育園の調理器具等のアレルゲン調査をおこなってきたが、食器洗浄機で食器を洗浄した場合、特に、乳と小麦については、免疫クロマト法ではアレルゲンが検出されるものの、エライザ法(日本食品分析センター)で分析をした結果では検出されず、アレルギー患者への影響は少ないことがわかった。但し、調査を進める中で、食器洗浄器での洗浄効果を過信して食器の予備洗浄が不十分であるとアレルゲンが再付着することや、洗浄器内の掃除が不十分であると、洗浄水自体も汚れていることがわかったため、今後の啓発活動に利用することとした。

④ ひやりはっと事例集積研究事業

事業内容	藤田保健衛生大学坂文種報徳会病院小児科・宇理須厚雄教授・近藤康人准教授と協働で、アレルギー疾患に関する「ひやりはっと事例」を常時収集、解析し、教育関連施設事故防止などに役立てていただく
結果	宇理須厚雄教授らの、2013年度消費者庁からの委託事業に協力し、医療機関、東海地域および全国の患者会より事例収集を行った。収集件数 約230件。「ひやりはっと事例集2014」として、発刊準備中。

⑤ 献立作成と危機管理システムの開発(新規事業)

事業内容	名古屋工業大学 伊藤孝行(産業戦略工学・准教授)及び大学院生との協同研究として、アレルギー食品誤食防止のための注意喚起システムを作成する。
結果	システムづくりのための打ち合わせを 6/26・7/31・9/3・10/2・11/6 に名工大にて実施。12/10 袋井市給食センターを見学。 2014年度より袋井市教育委員会・給食センターでの使用をベースとし、システム作成予定。

3) 受託事業

①臨床研究事業

事業内容	<p>i) 「食物アレルギーを合併したアトピー性皮膚炎患者における乳酸菌粉末食品摂取の安全性および治療補助効果に関する検討」 2012年度に受託し治験が終了した事業について、臨床試験の結果を分析し、報告書を作成する。</p> <p>ii) 麹菌発酵大豆培養物のアトピー性皮膚炎の症状緩和に対する効果と、麹菌発酵大豆培養物にビフィズス菌を加えた際の効果を検証するためのパイロットスタディを受託、実施する。 実施期間(2012年9月~2013年6月)</p>
結果	<p>i) 研究は計画通りに完了し、L-92乳酸菌の20mg投与群は0.2mg投与群を比較して、皮膚症状の改善傾向と皮膚の炎症マーカーであるTARC値の有意な低下、及び保護者QOLの有意な改善を認めた。この成績を11月28日に日本アレルギー学会で発表し、英文論文の作成を目指して作業を進めている。</p> <p>ii) 研究は計画通りに完了し、通常用量群は低用量群と比較して服用3か月後に有意な皮膚症状の改善を確認した。この結果は、2014年春の日本アレルギー学会に発表予定。小規模なパイロットスタディーであったため、正式な学術雑誌への投稿は難しいが、専門の商業誌への投稿を検討中。</p>

(4) 災害救援及び防災対策事業

1) 東日本大震災救援事業

事業内容	<p>被災地において、アレルギーへの理解を広げる活動を、医療機関、自治体、子育て支援団体と協働で行う。</p> <p>i) 気仙地域において「アレルギー講演会」や個別相談、患者をサポートする専門職への支援として、「アレルギー勉強会」「インターネットアレルギー講座の無料配信」を行う。</p> <p>ii) 岩手県内の若手の小児科医への研修支援として、あいち小児保健医療総合センターでの研修を企画実施する。</p> <p>iii) 仮設住宅の環境調査を行う。喘息、アトピー性皮膚炎などアレルギー疾患を持つ患者が住む仮設団地の住環境調査を行い、症状悪化の改善に役立てる。また、このことにより一般の人々の健康的な住まい環境の確保の一助とする。調査期間中、喘息用吸入器、マスク、アトピー性皮膚炎用肌着、「ダニとりマット」など患者の要請にこたえ必要な生活支援も同時に行う。調査結果は市の関係課や仮設の住民の方にフィードバックをする。</p>
結果	<p>i) 「アレルギー講演会と交流の集い」(6/30)(大船渡市)。講師は、同愛記念病院の増田 敬先生。テーマ「こどものアレルギーと向かい合うための知識」参加者は、患者家族、自治体職員、子育て支援団体の方など、60家族。午後は、アレルギー対応のアルファ米とカレーの試食会をし個別相談会(12組の患者家族が参加)を開催。</p> <p>「アレルギー勉強会」(10/15) NPO法人子育てシップより依頼。法人主催のママサロン(陸前高田市)で中西が勉強会講師。出席者は、20家族と、スタッフ5名</p> <p>「アレルギー勉強会」(12/2) 釜石市立平田幼稚園。保育士8名と保護者 計20名対象に勉強会(講師:中西)</p> <p>「インターネットアレルギー大学」の無料配信は2名受講中。</p> <p>ii) 岩手県立大船渡病院小児科・佐々木朋子先生が6月～9月に、岩手医科大学・小児科、浮津真弓先生が12月～1月に、あいち小児保健医療総合センター・アレルギー科で研修。住宅費の補助をした。</p> <p>iii) 仮設住宅の環境調査</p> <p>4/4(木)～4/6(土)・・・ダニ及びダニアレルゲン量の測定、聞き取りによる環境調査、居室内の温湿度測定と、継続調査のお願い</p> <p>9/23(月)～9/26(木)・・・最終調査。ダニ及びダニアレルゲン量の測定、聞き取りによる環境調査、居室内の温湿度計の回収をし、1年間の調査の御礼</p> <p>2014.1/6 中間報告書を名古屋市生活衛生センターに郵送。 ダニアレルゲンは、名古屋市生活衛生センターに解析を依頼した。</p>

2) 東海・東南海・南海地震に備える事業 災害協定と備蓄

事業内容	<p>i) 東海4県下の人口20万人未満の自治体と災害(防災)協定を締結できるようすすめる。そのため、必要な備蓄品と保管場所を関係企業の協力(寄附金)を得てすすめられるようにする。</p> <p>ii) 東海地域で備蓄しているアルファ化米の、入れ替えと今後の備蓄体制について再検討をする。</p> <p>iii) 発災時の支援体制を確立し訓練を実施する。</p>
結果	<p>i) 未実施</p> <p>ii) できるだけ、保管団体にも協力をお願いし、入れ替えの資金を作る。できた資金以上の仕入れをしない。⇒10箱分の入れ替えができた。継続実施する。</p> <p>iii) 発災時の手順書を作成し、スタッフの共通認識にするための準備をすすめた。</p>

3) 災害ボランティアなどの団体と協同する事業

事業内容	「震災がつなぐ全国ネットワーク」や東海地域の災害ボランティア団体と協同し、アレルギーを持つ人々の要支援対策の必要性を伝え、その具体化をすすめる。
結果	<p>i) 震災がつなぐ全国ネットワーク(事務局はRSY)と顔の見える関係を気づく 10/1(火)「支援の隙間にいる被災者」に向けたボランティアのアプローチを考えるワークショップ 10/27(土) 定例会 参加</p> <p>ii) なごや災害ボランティア連絡会 毎月第一木曜日・18:30- 出席</p> <p>iii) 地域の患者会が、災害ボラ団体と協同できるよう支援した。また、防災のイベントに、患者会とともに参画した。</p> <p>6/22(土)～23(日)15:00～翌7:30 宿泊型避難所防災訓練 場所:緑区 桶狭間小学校 参加者400名(住民・消防署・保健所・社協・警察署・防災ボランティア・区役所・緑アレルギーの会)</p> <p>7/20(土)13:30～16:30 高浜防災フォーラム 参加者70人(住民・高浜足立助産施設 アルファ化米の試食・販売、アレルギーっ子の防災展示、紙芝居)</p> <p>10/20(日) 松阪市防災訓練 に、松阪の患者会(まつぼっくり)とともに参加。 11/17(日) 名古屋市緑区防災フェスタ に、緑アレルギーの会とともに参加。 2/23(日) 名古屋災害ボランティア主催「防災フェア」に出展。 3/1(土) 熱田災害ボランティア主催「防災講演会」で ミニ講座「災害時のアレルギーっ子の困りごと」を担当 3/21(金・祝) 防災ランチパーティ に参加、港防災センター</p>

4) 安否確認登録と緊急カード・シリコンリング普及事業

事業内容	災害時、親と離れ離れになったとき、アレルギー児と分かる緊急カード、シリコンリングを普及する。また、安否確認システム登録者に対し、メールマガジンを配信し情報の伝達を確認、発災時にシステムが稼働できるよう訓練を実施する。
結果	<p>安否確認システム登録者931人に対して、メールを一斉送信した。(8/12-13)</p> <p>送信内容は、 このシステムが、災害時・緊急時に支援ネットと連絡をとりあえることを目的としていること。状況に応じて支援情報を提供することを目指していること。東海・東南海地震が起きれば支援ネットも被災すること。従って、患者家族は、支援ネットのHPを参考に、日頃からの、自助・共助・公助の仕組みづくりが大切であることを伝えた。</p> <p>3/11に、2回目のメール配信をし、以降、スタッフの持ち回りで、2～3か月に一度11日に配信をする予定。</p>

5) 他地域で発生する大規模災害に備えた救援事業

事業内容	他地域で大規模災害が起きた場合のアレルギー患者の支援については、平常時から他地域団体と災害対策の情報交換および相互支援体制の確立ができるよう今年度は災害対策委員会で検討する。
結果	災害時に役立てていただけるよう、アレルギー対応アルファ化米が備蓄してある自治体一覧表、アレルギー対応ミルクを販売しているドラッグストア一覧表をHPに掲載した。

	<p>東海・関西・中国地域ネットワーク会議(交流会) 3/21(金・祝)13:00-17:00</p> <p>中国(広島・島根・鳥取・山口・松江)、京都、大阪、東海連絡会の交流会を開催し、11 団体 17 人が参加した。顔の見える関係を築き、地域の課題を共通認識とした。それぞれの団体が自分の地域で防災対策できるように支援した。</p> <p>NPO 法人チームアレルギー(広島)・NPO 法人アレルギーネットワーク京都・ぴいちゃんねっと・アレルギー支援ネットワーク 共同開催。(真如苑 助成金事業)</p>
--	---

(5) 関連用品の販売普及事業

事業内容	<p>i) 共同購入物品販売事業 HPリニューアルに伴い、「買い物かご」の商品販売ページを作成する。会の活動支援として共同購入の仕組みを周知する。</p> <p>ii) 認証商品 審査事業 申請書の提出により、経営委員会および関連委員会にて検討をする。</p> <p>iii) 企業広告審査事業 HPへの企業広告について基準を検討し、広告の募集をする。</p>
結果	<p>「買い物かご」の商品販売ページを作成。</p> <p>会へ共同購入のアピールを強化し、防ダニシートと布団の丸洗いのセット注文や、季節の変わり目やフェアにて特別販売やキャンペーンを7月・11月に行った。</p> <p>アルファ化米は、保育園への販売価格を定価から2割引きに変更し、注文増をめざした。「日頃から食べてみようキャンペーン」を9月に企画した。</p> <p>お菓子の注文は、例年通り注文があった。</p> <p>寝具・・・1,767,930円 書籍・・・864,385円 スキンケア・・・474,579円 食品・・・1,554,634円 その他・・・81,871円 合計4,726,628円</p> <p>活動費助成金、アレルギー大学修了生金券、キャンペーンセット販売値引き160,561円を引いて 合計 4,325,898円</p>

(6) 医療機関への栄養士派遣事業

事業内容	<p>医療機関と委託契約を結び管理栄養士を派遣、栄養・食事指導及び食物負荷試験の介助を行う。本年度は、従事者育成のため対象者の開拓をし、随時あいち小児保健医療センターアレルギー科での研修を行う。また、新たな契約先も開拓し、月の契約件数を増やす。</p>
結果	<p>7 医療機関に、月 1~4 回、管理栄養士を派遣した。(常勤栄養士 2 名・非常勤栄養士 4 名) 名古屋市内 2 医療機関、三重県 1 医療機関、愛知県内 3 医療機関、静岡県内 1 医療機関。指導を行う管理栄養士は、あいち小児研修・栄養士委員会各月 1 回に参加した。</p>

(7) 寄附助成事業

事業内容	ひやりはっと事例集2013普及事業 ファディア(株)の寄付助成事業として、宇理須厚雄教授・近藤康人准教授と協働し、 「ひやりはっと事例集2013を1万部普及する
結果	未実施。2014 年度事業の予定。

II.その他の事業

- (1) ベットマットの販売事業は従来どおりアレルギーの分野のみとし、その他の事業は行わない。
- (2) 愛知県職員の「2年目現場体験研修(NPO)」受け入れの協力(4年次目)

事業内容	愛知県に入職して2年目となる職員の「NPO活動を体験する」研修として、7月から12月の期間、のべ13人の研修生を受け入れる。
結果	7/10～12/13までの期間に、13人の研修生を受け入れた。NPOの活動を体験した研修生の感想では、NPOの細かな気づきが地域の問題解決に繋がっている、NPOと行政の協働は重要であり、行政のやる気が協働の成果に深く関係している、NPOスタッフの社会貢献に関する高い意識と情熱を感じた、という内容が多くあげられた。